

**製品名:** リン酸化 EIF2S1 (Ser51) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87060

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:36 kDa; Observed MW:36 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-EIF2S1
別名	EIF2; EIF-2; EIF2A; EIF-2A; EIF-2alpha
遺伝子 ID	1965
SwissProt ID	P05198
免疫原	ヒト EIF2S1 の Ser51 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

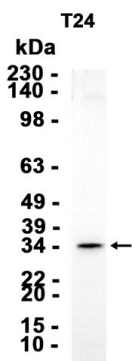
翻訳開始因子 EIF2 は、タンパク質合成開始の最初の制御段階を触媒し、開始 tRNA の 40S リボソームサブユニットへの結合を促進し

ます。結合は、メチオニル tRNA、EIF2、および GTP の三元複合体として起こります。EIF2 は、36kD の EIF2- $\alpha$  サブユニット (EIF2S1) 、38kD の EIF2- $\beta$  サブユニット (EIF2S2; MIM 603908) 、および 52kD の EIF2- $\gamma$  サブユニット (EIF2S3; MIM 300161) という3つの非相同サブユニットで構成されています。三元複合体の形成速度は、EIF2- $\alpha$  のリン酸化状態によって調節される (Ernst et al., 1987 [PubMed 2948954]) 。 [OMIM 提供、2010年2月]

## 研究分野

-

## 画像データ



1:1000 の Phospho-EIF2S1 (Ser51) ウサギモノクローナル抗体を使用した T24 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。